

物事がいかに始まりいかに終わるのかの法則を知るのか、なぜ迷うことのないような心を持つことができるのだろうか、いろんな解釈が出来ます。学問で答えを見つけるように何が問題でどのように解決すべきなのか考える。法則を知るためにいろんなやり方で解いてみる。答えを見つけるまでやり続ける。現実と理想の中でどのようなギャップがあるかを見つけそのための実力を身に付ける。学生時代には解らなかつたけれど、学ぶということはそういうことなのだと思ひます。

県陵で過ごした3年間で素敵だったのは、自分のことしか考えないような人が少なく、みんな関り助け合いながら、また

アップルパイと フォアシュピール

高57回 大 鳶 あや

高校を卒業した2005年から9年間ドイツで音楽留学を行った。今思えばあまりにも無謀だったと思うが、ドイツに着いた当初アルファベットのドイツ語読みも出来なかつた。着いた日の翌日、どうしても甘いもの

本音で議論を重ねられる仲間がいつもいたことです。

仲間で力を合わせることで大きな成果を手に入れることができるのを学ぶことが出来ました。勉強からだけでなく人との関りの中から学びあえることが多かったからこそ、卒業してもこの学校のことを愛する仲間がたくさんいるのです。

吸収力のある高校時代、無駄なことなど何一つないと思つて精一杯何事にも本気で立ち向かい、どんなことがあつても一時的な禍福に振り回されず迷うことのない心を養つてほしいと願っています。
頑張れ県陵生！
県陵ファイト！



白虹会 2年 中山 汐音

のが欲しくなり恐る恐る入ったパン屋さんで目を惹いた美味しそうなパイの数々。中身が見えていない状態だったので、アップルパイらしきものに指を指し買った。コーヒを淹れて、甘く、美味しいであろうパイを口

に入れた瞬間、ザラツとした塩味が口の中にいっぱい広がった。その時の気持ちは一生忘れないと思う。言葉が出来ないだけで、欲しいものが買えない悲しさ。午後のひと時を楽しもうと思つていただけなのに。私が覚えた初めてのドイツ語は、アップルパイだった。そこから語学の大切さを実感し、必死に勉強を始めた。街もおっかなびつくり歩いていたので、本屋で地図を買いき方から覚えていったように思う。これはアップルパイのお話。

ピアノ、誰に習っているの？
良い教授知っている？

音大で、この質問ほど聞かれたものはなかつたように思う。ドイツの音大は、半年ごと4万円くらいの学費として納める。政府からの国費で大学が成り立っているのだ。世界中から音楽を志す学生が集まってきて、切磋琢磨する。入試では、学科につき3から4しか空かない学籍を多いときは100人に上る受験者が受ける。そこで大切な演奏を聴いてもらい、コネを作っておくことだ。私もドイツ中、15を超える音大に赴き、師事したい教授のレッスンを聴講し、演奏を聴いてもらった。その時

に演奏をかなり批評された。教授一人一人、言うことが違うのだ。音楽性は問題ないけど、技術がない、技術はあるのに、音楽性がパツとしない、などなど。そのたびに落ち込んだりしていたが、そんな風に演奏を晒して、厳しいことを言われた日々が私にとって一番の財産となつている。音大の名前が音楽を教えるのではなく、直接師事する教授が音楽を教える。これはフォアシュピールのお話。



ドイツ 国立ヴェルツブルクレジデンス

日本に帰国して、ドイツで食べていたようなアップルパイを目にすることがなくなつた。しかし、アップルパイを食べるたびに厳しくも、楽しかつたドイツでの懐かしい日々を思い出す。



白虹会 3年 百瀬 小夏

TADACHIYA
SINCE 1848

徳田立屋

代表取締役 大宮康彦(高17回)

長野県松本市大手3-3-4(大名町)
TEL 0263(32)0057 FAX 0263(34)2561

手づくり朝食と大浴場が人気のホテル

松本トリストホテル
Matsumoto Tourist Hotel

全日本シティホテル連盟会員・政府登録

縣 正長 (高17回)
縣 秀享 (高23回)

〒390-0815 長野県松本市深志2丁目4-24
TEL 0263-33-9000 FAX 0263-36-6435
<http://www.trist.co.jp/>

和食レストラン **鮎亭**

ウッドストーブ **彩紋**

高山良一(高16回)

〒390-0851 松本市島内小宮809-1
☎(0263)40-3214